

宮城いきいき便り

日ごろの学習成果披露

いきいき学園石巻校の文化祭



にぎやかなステージが繰り広げられた石巻校の文化祭

深まることを期待する」とあいさつ。来賓を代表し、東松島市教委の工藤昌明教育長が祝辞を述べた。

「一歩前進より明日へ」をテーマに、宮城いきいき学園石巻校の文化祭が10月12日、東松島市コミュニティセンターで行われた。今年が19回目の文化祭で、開会式では「宮城いきいき学園の歌」を参加者全員で斉唱。学園長も兼ねる宮城県社会福祉協議会の鈴木隆一会長が「これまで取り組んできた練習や活動の成果の発表が大勢の来場者に多くの感動を与え、この文化祭をきっかけに地域の皆さんとの交流が一層



社交ダンスの披露もあった

宮城いきいき学園の文化祭は、日ごろの学習成果などを総合的に発表する場。年間を通して最も力を入れている。行事で、県内5校ごとに順次開かれた。学園活動を地域住民に広くPRする場にもなっている。

パークゴルフを楽しむ

生きがい登米・栗原地区大会



多くの参加者が集った登米・栗原地区大会の開会式

宮城いきいき学園の卒業生が企画する「生きがい健康づくり地区大会」が、県内5会場ですれぞれ開かれた。いきいき学園の5校がある地区ごとの住民を対象としたイベント。このうち登米・栗原地区大会は、大崎市田尻の加護坊パークゴルフ場が会場。登米・栗原校の在校生と卒業生、同地区のパークゴルフ愛好者ら約230人が参加した。



プレー終了後、表彰された上位成績者

朝もやが会場を包む中、プレー開始。参加者は好成績を目指し、日ごろの練習の成果を発揮しようと、元気いっぱい練習を繰り返していた。巧みなクラブさばきを見せたり、

珍プレーがあつたりと笑顔が絶えず、競技を通じ交流も深めていた。宮城いきいき学園では、卒業生全員を「生きがい健康づくり推進協力員」に委嘱。2年間の学園生活で学んだ知識や経験を卒業後も生かし、地域の高齢者のリーダーとして継続的に活躍してもらっている。

本大会は、その活動の一つ。本年度は登米・栗原地区のほかに大崎、石巻、気仙沼、本吉の各地区で各種スポーツ大会を開き、仙南地区では仙台大の支援を受け、基調講演やニュースポーツの実践体験などがあつた。